

令和4年度

優良県営建設工事

表彰特集

式辞



岩手県知事
達増拓也

令和4年度優良県営建設工事表彰に当たり、御挨拶を申し上げます。

このたび、優良県営建設工事表彰並びに優良下請負企業表彰を受けられます皆様は、令和3年度に完成した県営建設工事に、鋭意取り組まれるとともに、その卓越した技術により、他の模範となる優良な工事を施工された方々であり、これまでの御努力に対し、深く敬意を表します。

今回受賞される方々を始め建設業に従事する全ての皆様におかれましては、東日本大震災津波や、度重なる台風災害に際しまして、関係各位一丸となって復旧・復興に対応され、県民の生活基盤の早期回復に多大な貢献をいただいたところ です。

また、県内での高病原性鳥インフルエンザ発生時には、防疫対応に迅速に当たられたことにより、感染拡大を防ぐとともに、県民の安全・安心な生活の確保に大きく貢献いただいておりますことに改めて厚く御礼申し上げます。

建設業は、地域経済を下支えする重要な産業であるとともに、激甚化・頻発化している自然災害や家畜伝染病発生への対応、社会資本の整備や維持管理に欠かすことのできない大切な存在です。

一方で、新型コロナウイルスの流行やウクライナ危機、物価高騰など、建設業界を取り巻く環境は大きく変化しております。

こうした状況にあっても、地域の建設企業が将来にわたって期待される役割を担っていたけるよう、県では、建設企業等が一体となって取り組む施策等を示す「いわて建設業振興中期プラン2023（仮称）」の策定を進めているところ です。

表彰を受けられます建設企業の皆様には、社会資本の整備と維持管理の直接の担い手として、今後とも高い技術力を発揮され、優れた工事を行っていただくとともに、雇用の維持・創出に取り組む地域の中核的な企業として、更なる経営基盤の強化に努め、企業経営に当たられることを御期待申し上げます。

結びに、受賞者の皆様の今後ますますの御活躍と、御列席の皆様御健勝、御多幸を心から祈念申し上げます。式辞といたします。

優れた技術力をたたえ

県土整備部 優良建設業務を表彰

22年度県土整備部優良建設関連業務表彰の表彰式が21日、盛岡市の岩手教育会館で開かれた。21年度に完了した同部と広域振興局土木部の建設関連業務の中から、他の模範となる優良な業務22件の受注者と管理技術者を表彰。優れた技術力や取り組みをたたえた。

同表彰制度は、県土整備部または広域振興局土木部が発注した建設関連業務のうち、業務成績が優秀で他の模範となる業務を履行した受注者と管理技術者を表彰することで、建設関連業務の技術向上による公共工事の品質確保を図ることを目的とするもの。15年度に創設され、今回が8回目となる。

今年度は、21年度に完了した建設関連業務416件の中から選定。測量部門4件、建築関係部門2件、土木関係部門10件、地質調査部門1件、補償関係部門3件、調査関係部門2件の22件・18者を



あいさつする田中部長



田中部長が受賞企業へ表彰状を授与

表彰した。

田中隆司部長は式辞で、「建設関連業務は、県民の暮らしを支える社会基盤整備はもとより、県民生活の向上や地域の発展に欠かすことのできない大切な存在だ」と建設関連業務が

担う役割の重要性を指摘。

受賞者らへ「社会資本の整備と維持管理の担い手として活躍いただき、県民の豊かで安全・安心な暮らしを支える質の高い社会資本の提供に貢献してほし

い」と呼び掛けた。

受賞者を代表し、(株)

北日本朝日航洋の井上暢生代表取締役が謝辞。「技術の研さんをよくり鋭意貢献している一層重ね、業界の魅力を社会に発信し、経

営の安定や将来の担い手の確保、SDGsなどに取り組み、安心で持続可能な地域社会づくりに鋭意貢献していく」と述べ、決意を新たに示した。